

### 3. 郡山市まちづくり基本指針施策の満足度重要度

#### (1) まちづくりへの満足度結果一覧

まちづくり（取組み）における43項目（施策）の満足度平均得点をランキング化しました。

表3-1 43項目（施策）の満足度ランキング

平均得点69.5点

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度	順位の 変動	10位以上 の変動
1位	(2位)	II. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	77.4	➡	
2位	(1位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	医療	76.3	➡	
3位	(3位)	V. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	74.9	➡	
4位	(4位)	V. 暮らしやすいまちの未来	防災	74.2	➡	
5位	(5位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	73.6	➡	
6位	(6位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	73.3	➡	
7位	(7位)	V. 暮らしやすいまちの未来	住環境	73.0	➡	
8位	(8位)	III. 学び育む子どもたちの未来	子育て	72.9	➡	
9位	(8位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	72.2	➡	
10位	(12位)	III. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	71.6	➡	
11位	(12位)	III. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	71.2	➡	
12位	(20位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	71.1	➡	
13位	(15位)	II. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	71.0	➡	
13位	(23位)	基盤的取組	DX推進	71.0	⬆	△
15位	(25位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	70.7	⬆	△
16位	(18位)	III. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	70.5	➡	
17位	(17位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	70.2	➡	
18位	(22位)	III. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	70.1	➡	
19位	(10位)	V. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	69.9	➡	
20位	(26位)	II. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	69.8	➡	
21位	(12位)	V. 暮らしやすいまちの未来	5R(資源の有効利用)	69.4	➡	
22位	(20位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	69.0	➡	
23位	(33位)	I. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	68.9	⬆	△
24位	(27位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	68.8	➡	
24位	(11位)	基盤的取組	復興、創生の更なる推進	68.8	⬆	▼
26位	(16位)	基盤的取組	SDGs	68.7	⬆	▼
26位	(24位)	I. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	68.7	➡	
28位	(19位)	I. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	68.6	➡	
29位	(29位)	I. 産業・仕事の未来	地域産業	68.5	➡	
30位	(35位)	基盤的取組	行政経営	68.2	➡	
31位	(31位)	V. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	67.9	➡	
31位	(31位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	67.9	➡	
33位	(28位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	67.8	➡	
34位	(30位)	V. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	67.6	➡	
35位	(36位)	IV. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	67.3	➡	
36位	(37位)	V. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	66.8	➡	
37位	(39位)	I. 産業・仕事の未来	雇用・就労	66.6	➡	
38位	(34位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	66.4	➡	
39位	(38位)	V. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	65.9	➡	
40位	(40位)	V. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	65.4	➡	
41位	(41位)	II. 交流・観光の未来	観光	63.8	➡	
42位	(42位)	II. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	62.6	➡	
43位	(43位)	I. 産業・仕事の未来	農林業	62.0	➡	

平均より高い

平均より低い

【よい】の回答者に100点、【どちらかといえばよい】に80点、【どちらかといえば不満】に60点、【不満】に40点、【わからない】に0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました（表3-1参照）。

平均得点が高いほど、「満足」との評価が高い施策・事業です。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しました。

※1：平均得点の算出式

$$\begin{aligned} & (\text{【よい】} \times 100 + \text{【どちらかといえばよい】} \times 80 \\ & + \text{【どちらかといえば不満】} \times 60 + \text{【不満】} \times 40 + \text{【わからない】} \times 0) \\ & \div \text{「わからない」と無回答者を除いた} n \text{ 数} \end{aligned}$$

※2：平均得点の算出例

例えば、「よい」120人、「どちらかといえばよい」287人、  
「どちらかといえば不満」85人、「不満」53人、「わからない」113人ですと、

$$\frac{120 \text{ 人} \times 100 \text{ 点} + 287 \text{ 人} \times 80 \text{ 点} + 85 \text{ 人} \times 60 \text{ 点} + 53 \text{ 人} \times 40 \text{ 点} + 113 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}}{545 \text{ 人}}$$

≒77.4

※平均得点=77.4点となります。

※2019年度から「普通」評価をなくした4段階評価とし、配点も変更しました。

## — 満足度の上位3つは、「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」 —

### 【全体結果】

現在のまちづくりに対する満足度については、「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」が上位となっています。

「10年間の満足度上位3項目」において、「音楽のまちづくり」は「音楽都市こおりやま」（2017年度以前の項目名）を含めると2013年度以降は毎年上位3項目に含まれ、「医療」は2017年度以外、毎年度上位3項目に含まれており、継続して満足度の上位にある施策です。（表3-3参照）

「音楽のまちづくり」については、「音楽都市宣言」から16年経過し、市民の認知度が高いこと、「医療」については、病床数が全国平均を大きく上回るなど、市民のニーズを満たす医療を提供していることなどが、満足度につながっていると考えられます。

また、前年度調査に比べて「DX推進」「地域コミュニティ」「創業・起業支援」が大きく順位を上げました。

これらの項目に関連する本市の主な取組みは、次のとおりです。

「DX推進」では、スマートフォン等の活用による「てのひらの上のデジタル市役所」を推進するため、行政手続きのオンライン化、証明書等発行手数料や施設使用料のキャッシュレス決済により市民の利便性向上を図っています。

「地域コミュニティ」では、町内会・自治会等の活動拠点となる地域集会所の整備費等補助や、町内会役員の負担軽減を図る町内会DX推進事業、ふれあいネットワーク事業での市政情報の定期的な発信等により、町内会等地域団体の積極的な活動を支援し、快適で健康的な安全・安心の地域づくりの推進に努めています。

「創業・起業支援」としては、創業支援等事業計画に基づく支援を実施したほか、社会起業家に対する伴走支援に加え、新たにスタートアップ支援補助金を創設するなど、創業気運の醸成を図っています。

6分野の満足度を比較すると、最も満足度が高かった分野は、「学び育む子どもたちの未来」の71.3点、次いで「誰もが地域で輝く未来」の70.7点、「暮らしやすいまちの未来」の69.5点となっています。

表3-2 6分野別の満足度ランキング

順位	分野	点数
1位	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	71.3
2位	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	70.7
3位	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	69.5
4位	Ⅱ. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	68.9
	基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)	68.9
6位	Ⅰ. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	67.2

参考までに、過去10年間の満足度上位3つは下表のとおりです。

表3-3 10年間の満足度上位3項目

順位 年度	1位	2位	3位
2024	音楽のまちづくり	医療	自然環境
2023	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2022	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2021	医療	除去土壌等の搬出	音楽のまちづくり
2020	医療	音楽のまちづくり	自然環境
2019	音楽のまちづくり	自然環境	医療
2018	音楽のまちづくり	医療	自然環境
2017	広聴広報	音楽都市こおりやま	除染
2016	広聴広報	音楽都市こおりやま	医療
2015	音楽都市こおりやま	生涯学習	医療

## (2) これからの取組み重要度結果一覧

まちづくり（取組み）における43項目（施策）の重要度の平均割合（回答率）をランキング化しました。

表3-4 43項目（施策）の重要度ランキング

平均割合13.3%

順位	前年度 順位	分野	項目	重要度	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(1位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	40.7	→	
2位	(3位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	38.5	→	
3位	(2位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	34.9	→	
4位	(4位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	28.1	→	
5位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	27.1	→	
6位	(5位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	24.7	→	
7位	(6位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	24.6	→	
8位	(11位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	22.5	→	
9位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	22.3	→	
10位	(9位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	20.7	→	
11位	(10位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	19.6	→	
12位	(12位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	17.7	→	
13位	(21位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	15.4	→	
14位	(15位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	13.3	→	
15位	(13位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	13.2	→	
16位	(25位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	12.3	→	
16位	(14位)	基盤的取組	SDGs	12.3	→	
18位	(19位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	12.1	→	
19位	(18位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	11.7	→	
20位	(16位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	10.9	→	
21位	(20位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	10.8	→	
22位	(16位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	10.5	→	
23位	(26位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	10.3	→	
23位	(23位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	10.3	→	
25位	(31位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	5R(資源の有効利用)	10.0	→	
26位	(33位)	基盤的取組	行政経営	9.6	→	
27位	(28位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	8.5	→	
28位	(24位)	基盤的取組	復興、創生の更なる推進	8.4	→	
29位	(21位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	7.0	→	
30位	(29位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	6.9	→	
31位	(26位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	6.7	→	
32位	(35位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	6.6	→	
33位	(32位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	5.8	→	
34位	(34位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	5.5	→	
35位	(30位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	5.1	→	
36位	(40位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	4.8	→	
36位	(36位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	4.8	→	
38位	(37位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	4.0	→	
39位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	3.9	→	
40位	(42位)	基盤的取組	DX推進	3.1	→	
41位	(41位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	3.0	→	
42位	(37位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	2.8	→	
43位	(43位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	1.9	→	

平均より高い

平均より低い

平均割合（回答率）が高いほど、「重要度」が高い施策・事業です。

平均割合（回答率）の算出式、算出例を以下に掲載しました。

**※1：平均割合（回答率）の算出式**

$(\text{回答数}) \div n \text{ 数} \times 100\%$

**※2：平均割合（回答率）の算出例**

例えば、「子育て」272人ですと、

$272 \text{ 人} \div 668 \text{ 人} \times 100\% \doteq 40.7$

**※平均割合（回答率）=40.7%となります。**

— 重要度の上位3つは、「子育て」「高齢者福祉」「雇用・就労」 —

**【全体結果】**

現在のまちづくりに対する重要度については、「子育て」「高齢者福祉」「雇用・就労」が上位となっています。

「子育て」については、急速に進む少子化や人口減少などへの関心の高まりに加え、本市は2022年7月に「全力で子育て応援中！」を宣言し、「子どもが安心して生まれ、育つまち 郡山」として、「ベビーファースト」運動を推進していることなどから、各種団体や事業者など地域ぐるみでの子育て支援の取組みが広がったこともあり、重要度が高まっていると考えられます。

また、「10年間の重要度上位3項目」において、「高齢者福祉」は2014年度から、「雇用・就労」は2018年度から、ほぼ毎年度上位3項目に含まれており、継続して重要度の高い施策です。（表3-6参照）

また、上位10位内では、「高齢者福祉」「防犯・交通安全・消費者対策」「防災」が前年度調査に比べて順位を上げています。

「防犯・交通安全・消費者対策」については、全国的に高齢者による重大事故、SNS型詐欺やなりすまし詐欺などによる被害が連日報道され、市民の交通安全意識や防犯に対する意識も高まり、重要度が高くなったと考えられます。

「防災」では、近年の気候変動等の影響により水災害が頻発していることを受け、郡山市ゲリラ豪雨対策9年プランにより市内5か所で進めていた雨水貯留施設の整備が完了しており、ほかに被害の発生前から行政や住民などの各主体が迅速で的確な対応をとるためのタイムライン式行動計画の策定やウェブサイト・SNSからの防災情報の発信を行っています。

また、6分野の重要度を比較すると、最も重要度が高かった分野は、「学び育む子どもたちの未来」で、満足度においても最も高く、引き続き重点的に維持していく分野といえます。次いで、「産業・仕事の未来」の17.7%と続いています。

表 3-5 6分野別の重要度ランキング

順位	分野	回答率
1位	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来 (子育て・教育・地域学習分野)	18.9
2位	Ⅰ. 産業・仕事の未来 (商業・工業・雇用・農林業分野)	17.7
3位	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	14.8
4位	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来 (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)	11.8
5位	Ⅱ. 交流・観光の未来 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	10.4
6位	基盤的取組 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs・DX推進・復興、創生の更なる推進)	7.0

参考までに、過去10年間の重要度上位3つは下表のとおりです。

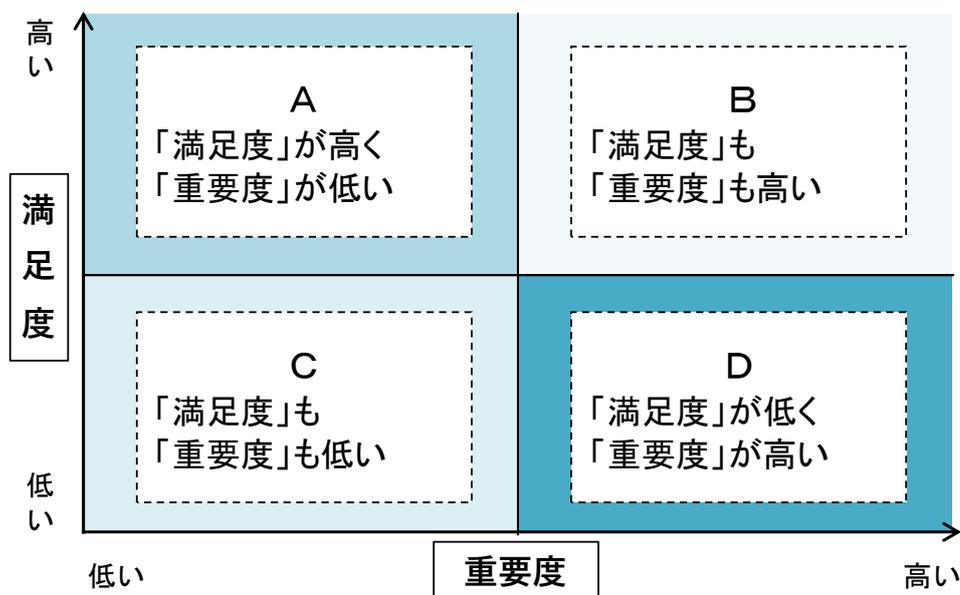
表 3-6 10年間の重要度上位3項目

順位 年度	1位	2位	3位
2024	子育て	高齢者福祉	雇用・就労
2023	子育て	雇用・就労	高齢者福祉
2022	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2021	子育て	雇用・就労	高齢者福祉
2020	雇用・就労	防災	学校教育
2019	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2018	雇用・就労	子育て	高齢者福祉
2017	高齢者福祉	子育て	学校教育
2016	高齢者福祉	学校教育	子育て
2015	高齢者・障がい者福祉	学校教育	子育て

### (3) 施策の優先度《満足度と重要度の関係》

まちづくり（取組み）における 43 項目（施策）の優先度を整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の結果を散布図として示しました。満足度平均得点の算出方法につきましては前出 30 頁を、重要度平均割合の算出方法につきましては前出 34 頁を参照ください。

なお、「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



#### **A：維持領域**

重要度は低いが満足度が高い取組みは、現状を維持していく項目（施策）です。

#### **B：重要維持領域**

重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目（施策）です。

#### **C：要検討領域**

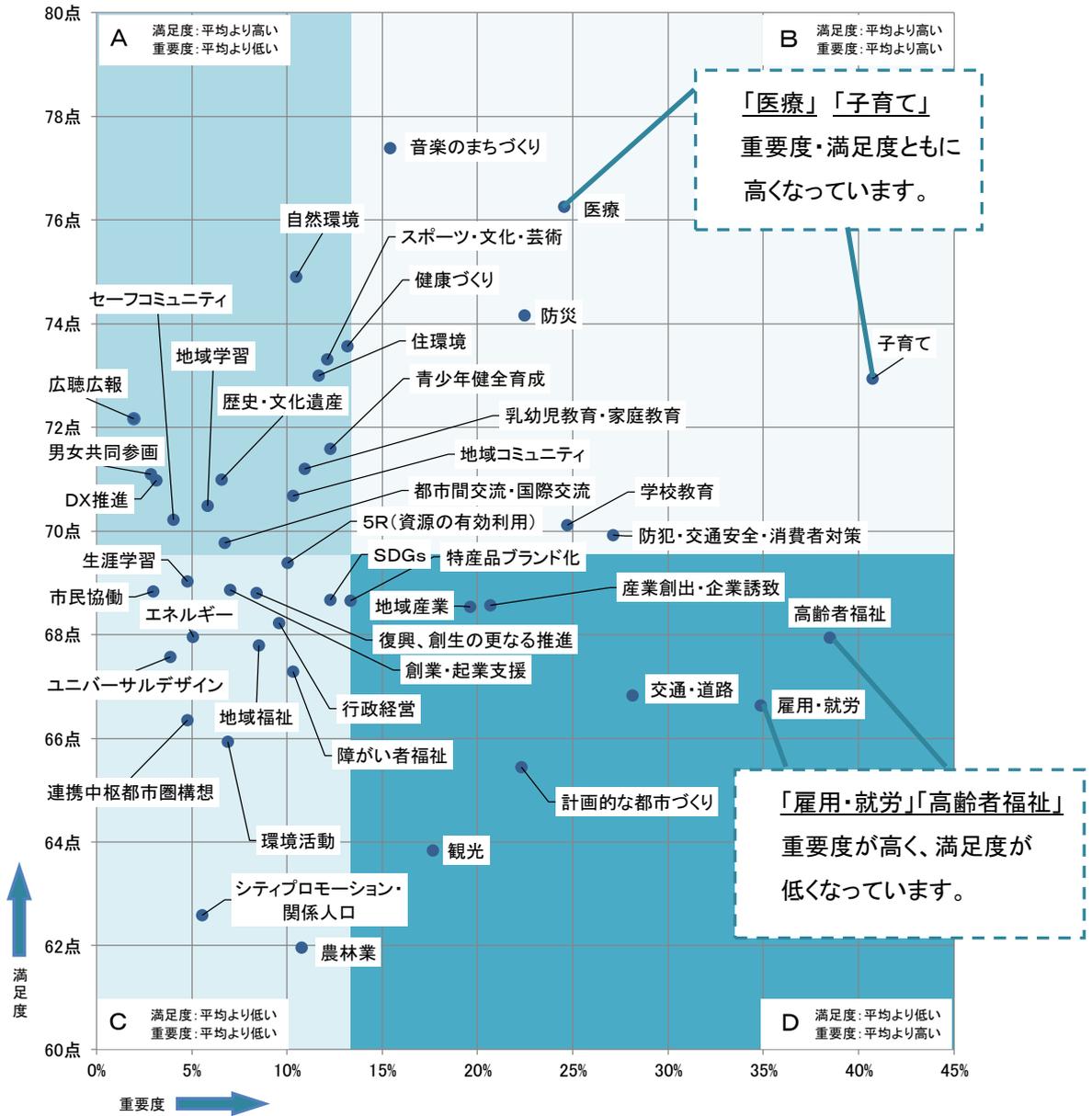
重要度も満足度も低い取組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目（施策）です。

#### **D：重要取組領域**

重要度が高いが満足度が低いため、重点的に取組みを進める必要がある項目（施策）です。

※上記のそれぞれの領域に該当した項目（施策）の満足度や重要度の高低については、全体の平均値と比較した相対的判断となっています。

図3-1 施策の優先度（満足度と重要度の関係散布図）

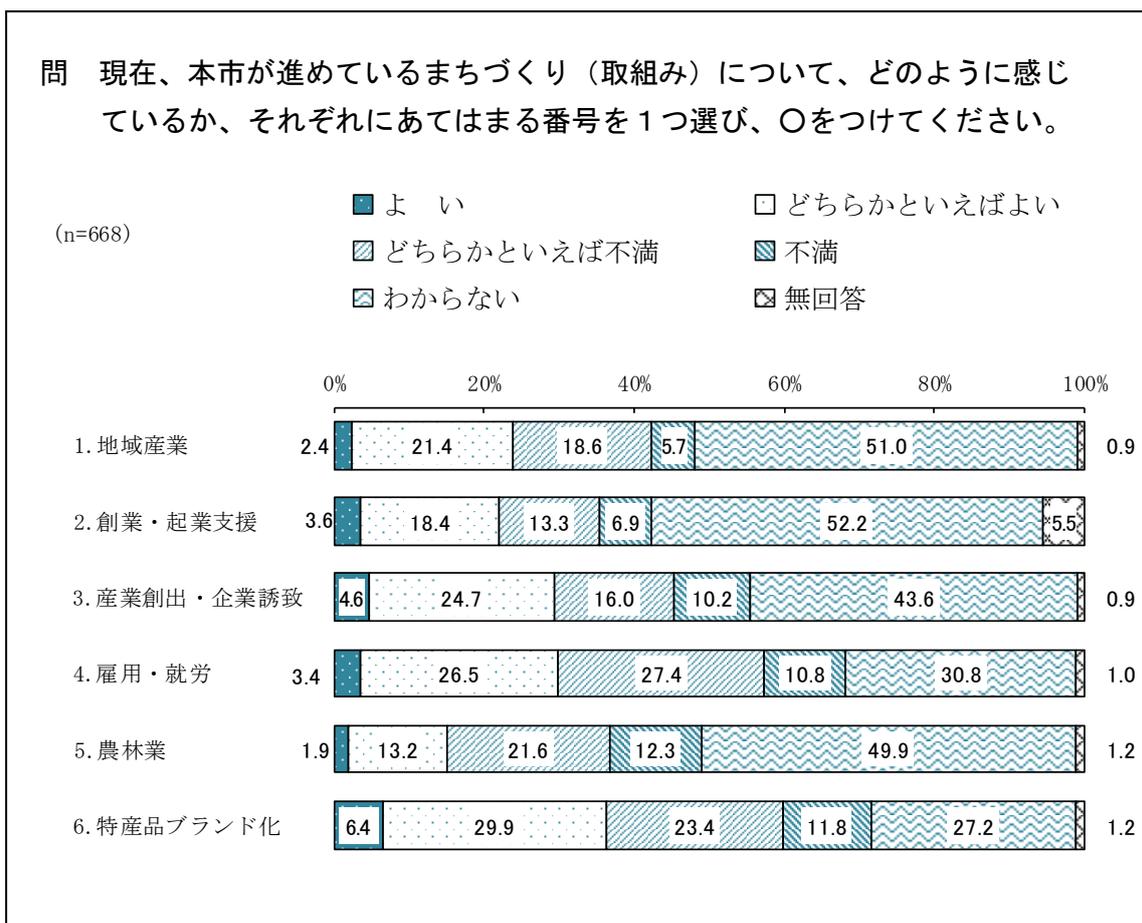


—— 「雇用・就労」「高齢者福祉」に関して優先的な施策の改善  
が求められている ——

現在の満足度が低く、今後の重要性が高い領域「D」にある施策は市民ニーズが高いと考えられます。この領域は市民生活に密接な関係のある施策が多く、とりわけ「雇用・就労」「高齢者福祉」は市民ニーズの高いポイントとなっています。

#### (4) 分野別属性別満足度結果

##### ①産業・仕事の未来（商業・工業・雇用・農林業分野）への満足度



—— 産業・仕事の未来において「満足」と思う人が最も多いのは『特産品ブランド化』 ——

#### 【全体結果】

『産業・仕事の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『6. 特産品ブランド化』（36.3%）でした。以下、『4. 雇用・就労』（29.9%）、『3. 産業創出・企業誘致』（29.3%）と続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『4. 雇用・就労』（38.2%）でした。『6. 特産品ブランド化』については評価が分かれる結果となっています（満足：36.3%、不満：35.2%）。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 3-2 参照）。

平均得点をみると、『2. 創業・起業支援』が68.9点で最も高く、一方で、最も低かったのは『5. 農林業』(62.0点)でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを以下に掲載しました。(表3-7参照)

図3-2 産業・仕事の未来への満足度<平均得点>(全体)

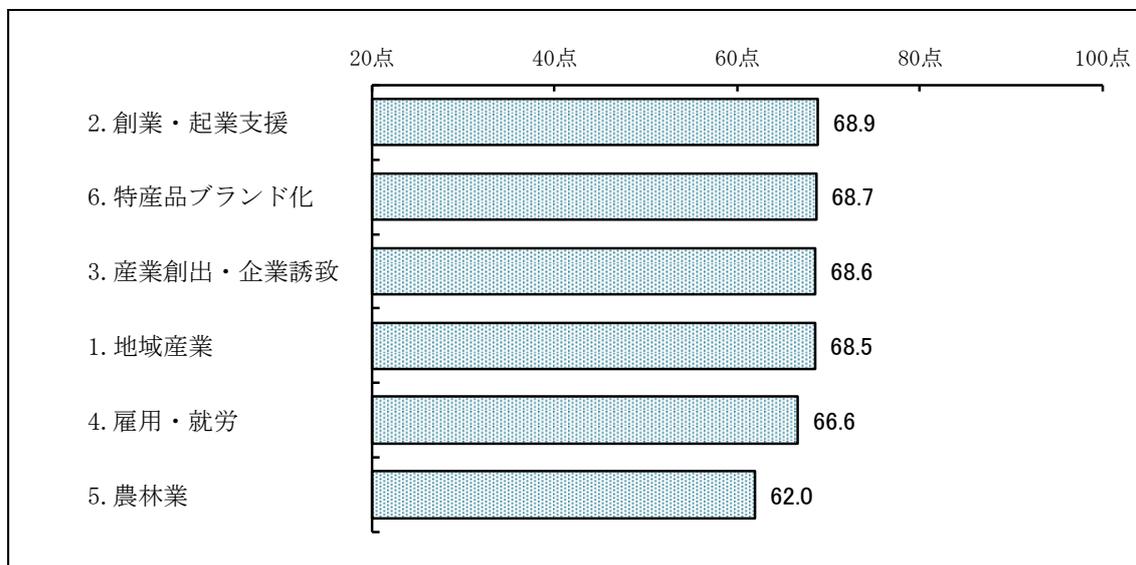


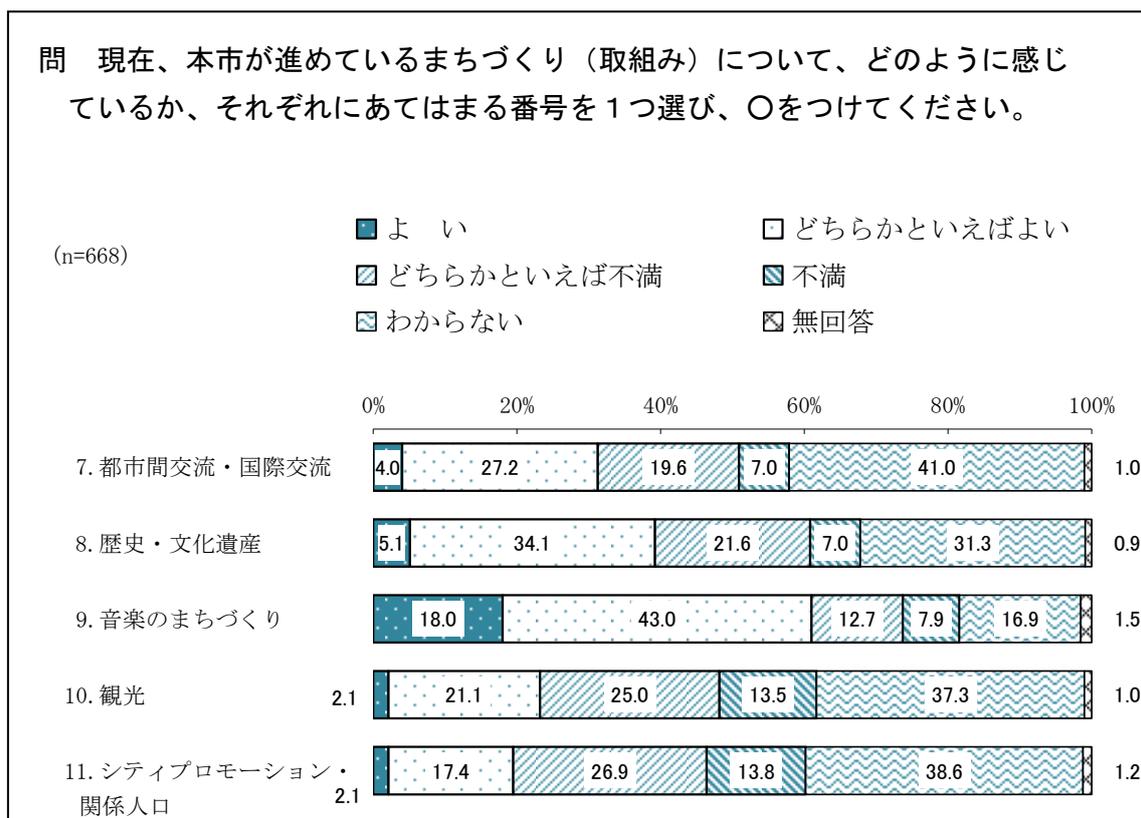
表3-7 産業・仕事の未来への満足度<性別、年代別平均得点の上位3つ>

	男性	女性
1位	創業・ 起業支援 (68.4点)	特産品 ブランド化 (71.3点)
2位	産業創出・ 企業誘致 (68.1点)	地域産業 (70.0点)
3位	雇用・就労 (67.4点)	創業・ 起業支援 (69.8点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	地域産業	産業創出・ 企業誘致 (78.6点)	特産品 ブランド化 (70.2点)	産業創出・ 企業誘致 特産品 ブランド化 (71.3点)	創業・ 起業支援 (68.8点)	創業・ 起業支援 (68.5点)	地域産業 (68.6点)
2位		創業・ 起業支援 産業創出・ 企業誘致 (80.0点)	特産品 ブランド化 (78.3点)	地域産業 (69.4点)	産業創出・ 企業誘致 (68.2点)	産業創出・ 企業誘致 (68.1点)	創業・ 起業支援 (67.8点)
3位		農林業 (74.7点)	産業創出・ 企業誘致 (68.8点)	創業・ 起業支援 (71.2点)	特産品 ブランド化 (68.0点)	特産品 ブランド化 (67.6点)	雇用・就労 (67.6点)

## ② 交流・観光の未来

(交流・文化・観光・シティプロモーション分野) への満足度



—— 交流・観光の未来において「満足」と思う人が最も多いのは

『音楽のまちづくり』 ——

### 【全体結果】

『交流・観光の未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『9. 音楽のまちづくり』（61.0%）となり、次点の『8. 歴史・文化遺産』（39.2%）を大きく上回っています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『11. シティプロモーション・関係人口』（40.7%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図 3-3 参照）。

平均得点をみると、『9. 音楽のまちづくり』が 77.4 点で最も高くなっています。一方で、最も低かったのは『11. シティプロモーション・関係人口』（62.6 点）でした。なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 3-8 参照）。

図3-3 交流・観光の未来への満足度＜平均得点＞（全体）

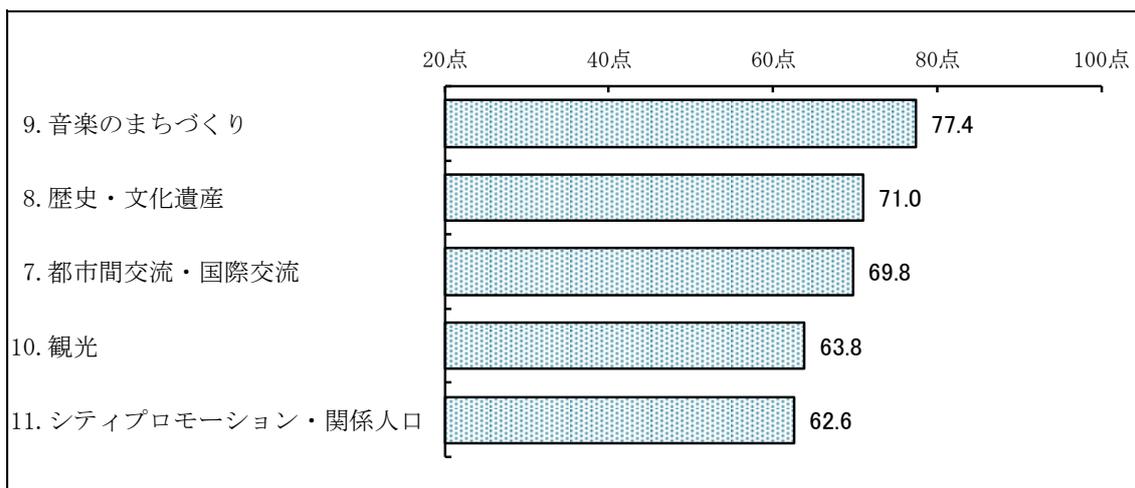


表3-8 交流・観光の未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	音楽のまちづくり (75.8点)	音楽のまちづくり (79.0点)
2位	歴史・文化遺産 (69.8点)	歴史・文化遺産 (72.5点)
3位	都市間交流・国際交流 (68.9点)	都市間交流・国際交流 (70.9点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	都市間交流・国際交流	歴史・文化遺産 (82.7点)	音楽のまちづくり (76.1点)	音楽のまちづくり (75.6点)	音楽のまちづくり (76.9点)	音楽のまちづくり (78.4点)	音楽のまちづくり (78.2点)
2位	歴史・文化遺産	音楽のまちづくり (82.5点)	都市間交流・国際交流 (68.2点)	歴史・文化遺産 (72.7点)	都市間交流・国際交流 (69.5点)	歴史・文化遺産 (70.3点)	歴史・文化遺産 (71.9点)
3位	音楽のまちづくり (80.0点)	都市間交流・国際交流 (74.3点)	歴史・文化遺産 (67.8点)	都市間交流・国際交流 (70.8点)	歴史・文化遺産 (69.4点)	都市間交流・国際交流 (67.7点)	都市間交流・国際交流 (71.3点)



図3-4 学び育む子どもたちの未来への満足度〈平均得点〉（全体）

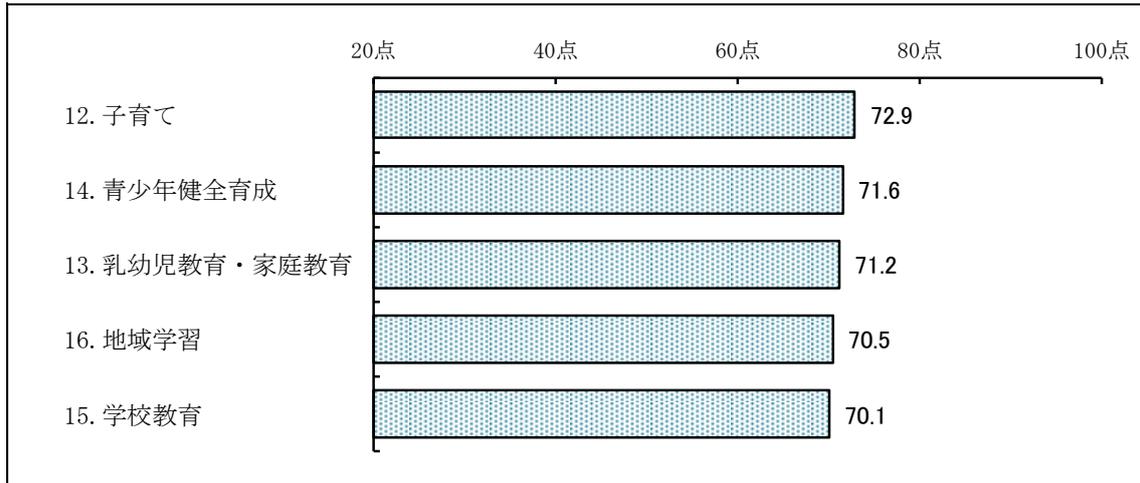


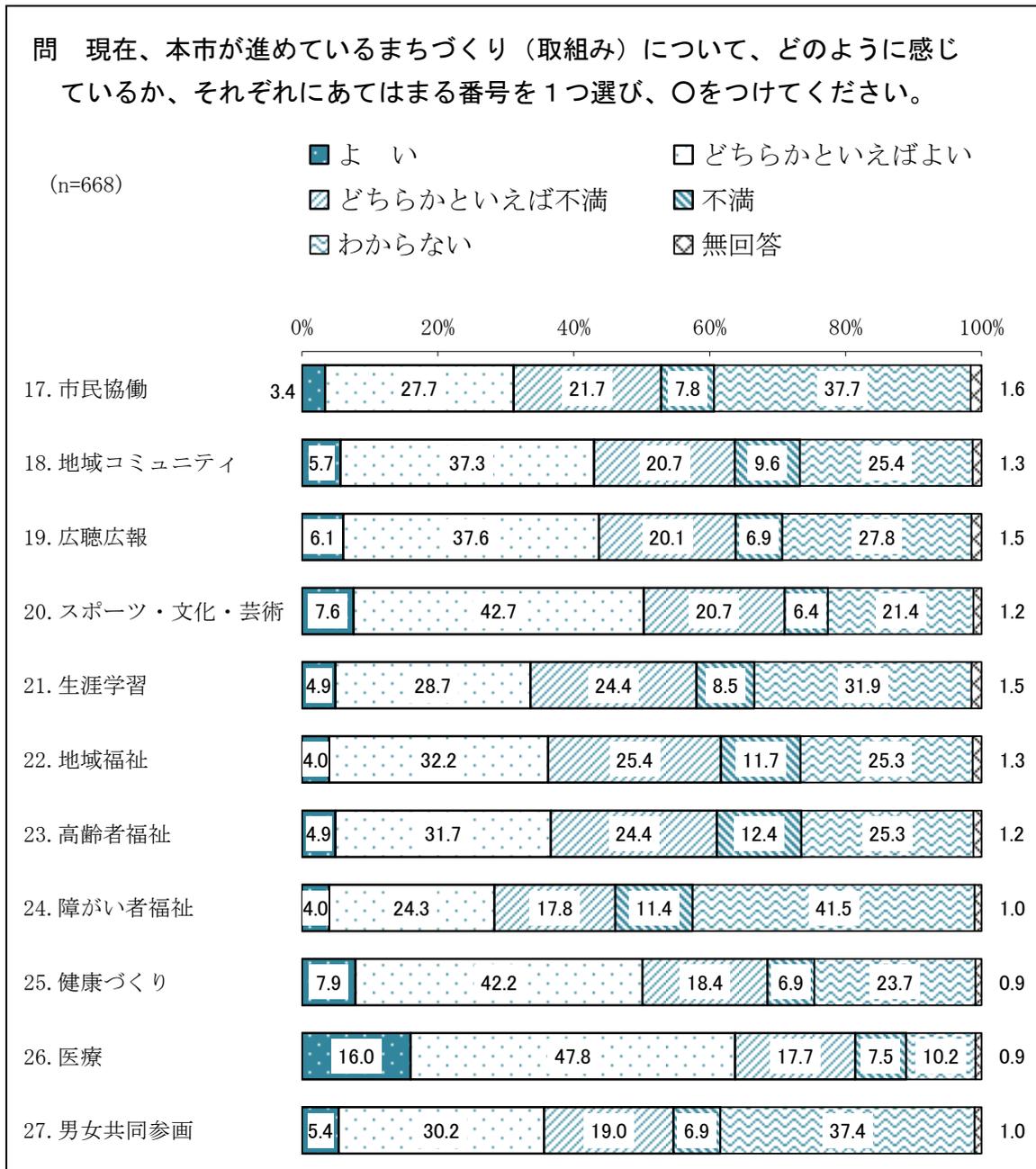
表3-9 学び育む子どもたちの未来への満足度〈性別、年代別平均得点の上位3つ〉

	男性	女性
1位	子育て (71.3点)	子育て (74.2点)
2位	青少年健全育成 (70.9点)	乳幼児教育・家庭教育 (73.4点)
3位	学校教育 (70.0点)	青少年健全育成 (72.3点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	子育て	青少年健全育成 (78.1点)	地域学習 (75.7点)	地域学習 (74.6点)	子育て (71.7点)	子育て (72.5点)	子育て (73.7点)
2位	乳幼児教育・家庭教育	地域学習 (77.0点)	子育て (71.9点)	子育て (73.7点)	乳幼児教育・家庭教育 (71.6点)	青少年健全育成 (70.0点)	青少年健全育成 (73.1点)
3位	地域学習 (80.0点)	子育て (76.0点)	学校教育 (71.5点)	学校教育 (73.2点)	青少年健全育成 (69.9点)	乳幼児教育・家庭教育 (68.6点)	乳幼児教育・家庭教育 (72.3点)

④誰もが地域で輝く未来

(市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)への満足度



—— 誰もが地域で輝く未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『医療』 ——

### 【全体結果】

『誰もが地域で輝く未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『26. 医療』（63.8%）でした。以下、『20. スポーツ・文化・芸術』（50.3%）、『25. 健康づくり』（50.1%）、『19. 広聴広報』（43.7%）が4割台で続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『22. 地域福祉』（37.1%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました（図 3-5 参照）。

平均得点をみると、『26. 医療』が76.3点で最も高くなっています。

一方で、最も低かったのは『24. 障がい者福祉』（67.3点）でした。

なお、性別、年代別平均得点の上位3つを次頁に掲載しました（表 3-10 参照）。

図 3-5 誰もが地域で輝く未来への満足度＜平均得点＞（全体）

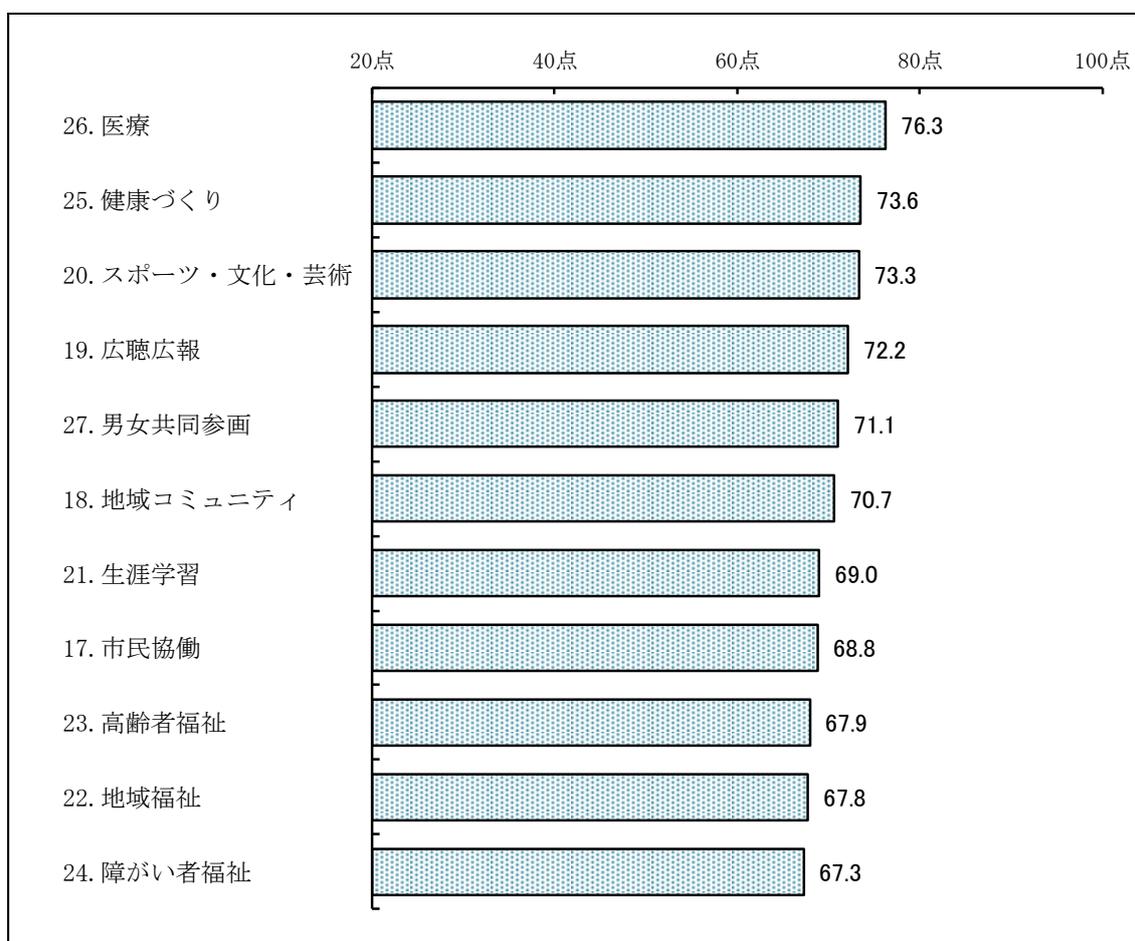


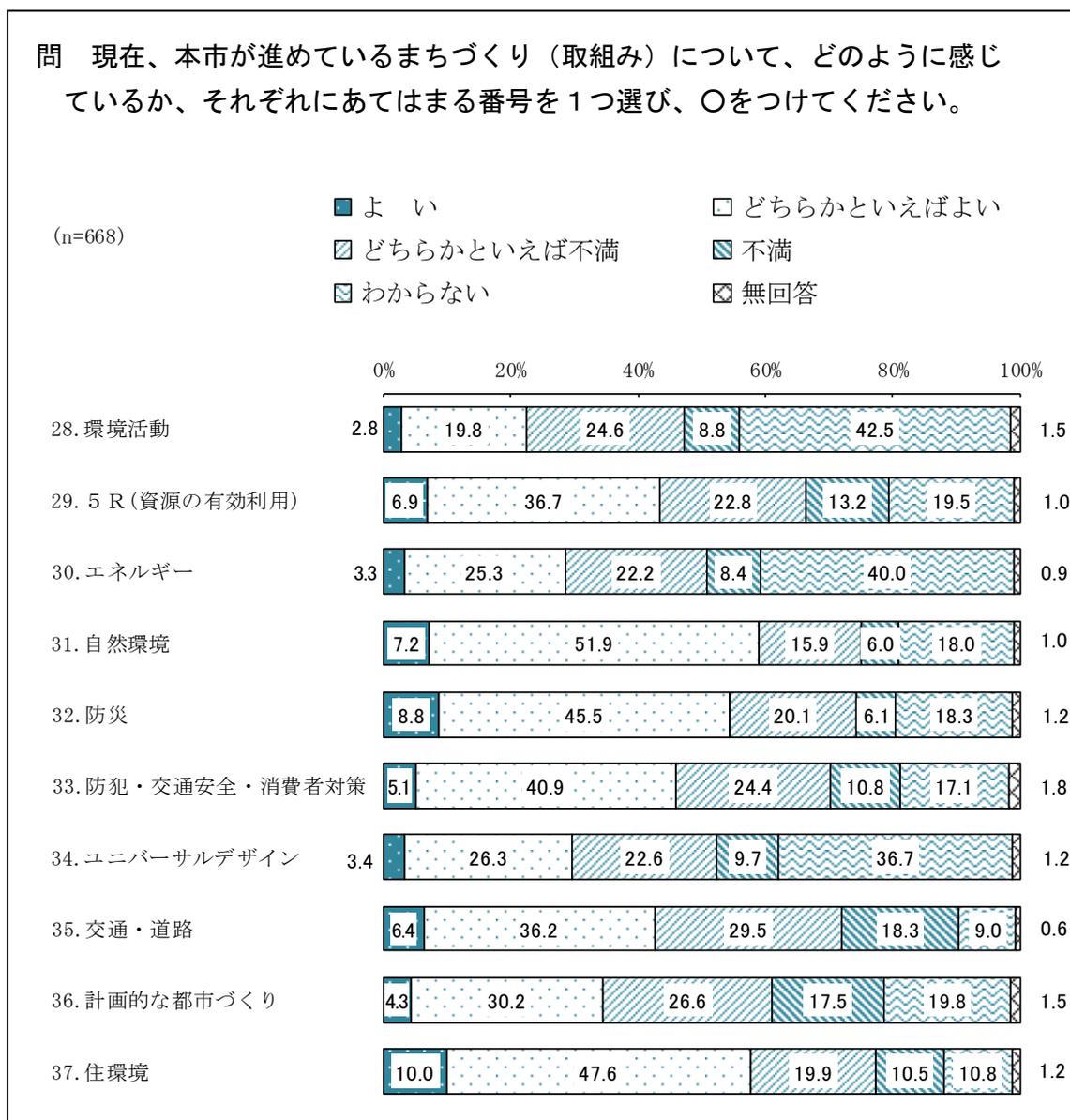
表3-10 誰もが地域で輝く未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	医療 (76.7点)	医療 (76.0点)
2位	健康づくり (73.3点)	健康づくり (74.0点)
3位	スポーツ・ 文化・芸術 (73.1点)	スポーツ・ 文化・芸術 (73.7点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	地域 コミュニティ (86.7点)	医療 (80.0点)	医療 (79.1点)	医療 (76.2点)	医療 (73.3点)	医療 (73.1点)	医療 (79.1点)
2位	スポーツ・ 文化・芸術  医療 (85.0点)	男女共同参画 (78.9点)	スポーツ・ 文化・芸術 (74.2点)	スポーツ・ 文化・芸術 (74.7点)	スポーツ・ 文化・芸術 (71.7点)	広聴広報 (72.5点)	健康づくり (77.7点)
3位		市民協働 (78.8点)	健康づくり (74.1点)	健康づくり (73.4点)	健康づくり (71.1点)	スポーツ・ 文化・芸術 (72.3点)	スポーツ・ 文化・芸術 (73.2点)

## ⑤暮らしやすいまちの未来

(環境・防災・市民安全・生活インフラ分野) への満足度



—— 暮らしやすいまちの未来において

「満足」と思う人が最も多いのは『自然環境』 ——

### 【全体結果】

『暮らしやすいまちの未来』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『31. 自然環境』（59.1%）となり、次いで『37. 住環境』（57.6%）と『32. 防災』（54.3%）も5割台で続き、上位を構成しています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『35. 交通・道路』（47.8%）となっています。

各項目の平均得点を算出した結果を以下に掲載しました（図 3-6 参照）。

平均得点をみると、『31. 自然環境』が 74.9 点で最も高くなっています。  
一方で、最も低かったのは『36. 計画的な都市づくり』（65.4 点）でした。  
なお、性別、年代別平均得点の上位 3 つを次頁に掲載しました（表 3-11 参照）。

図 3-6 暮らしやすいまちの未来への満足度＜平均得点＞（全体）

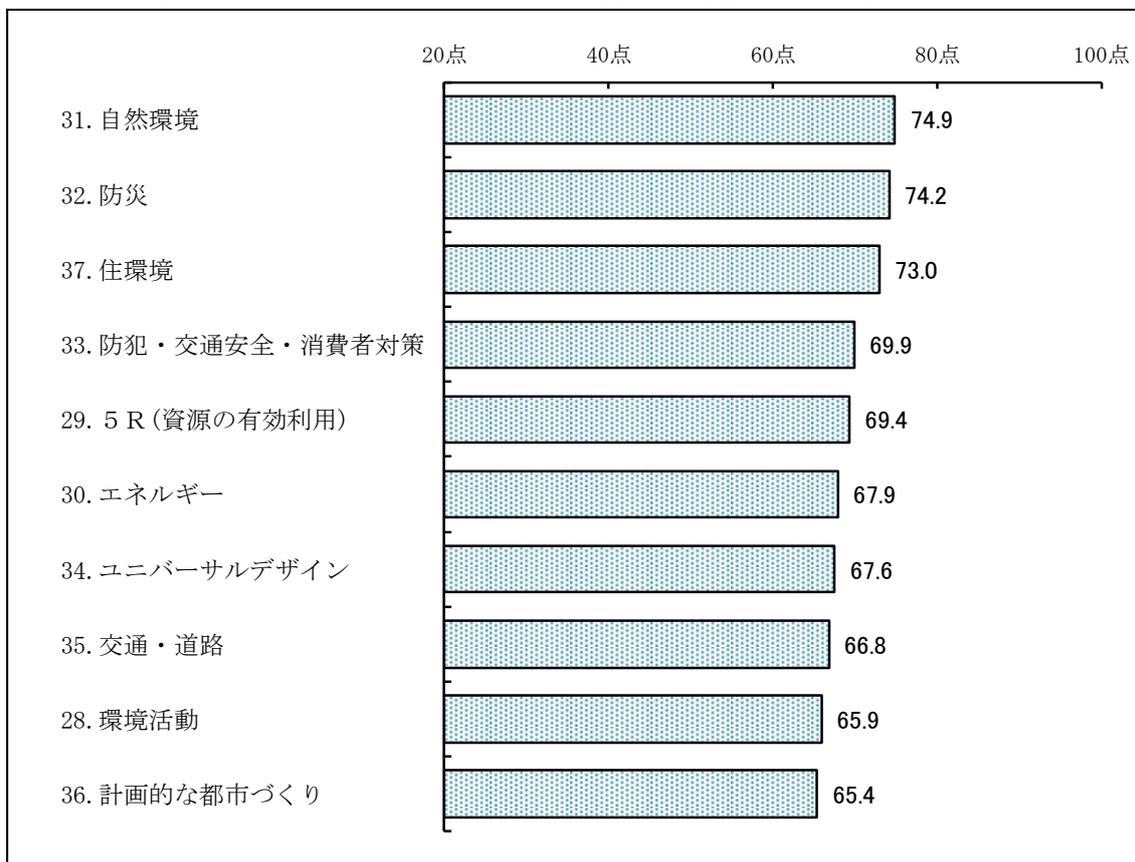


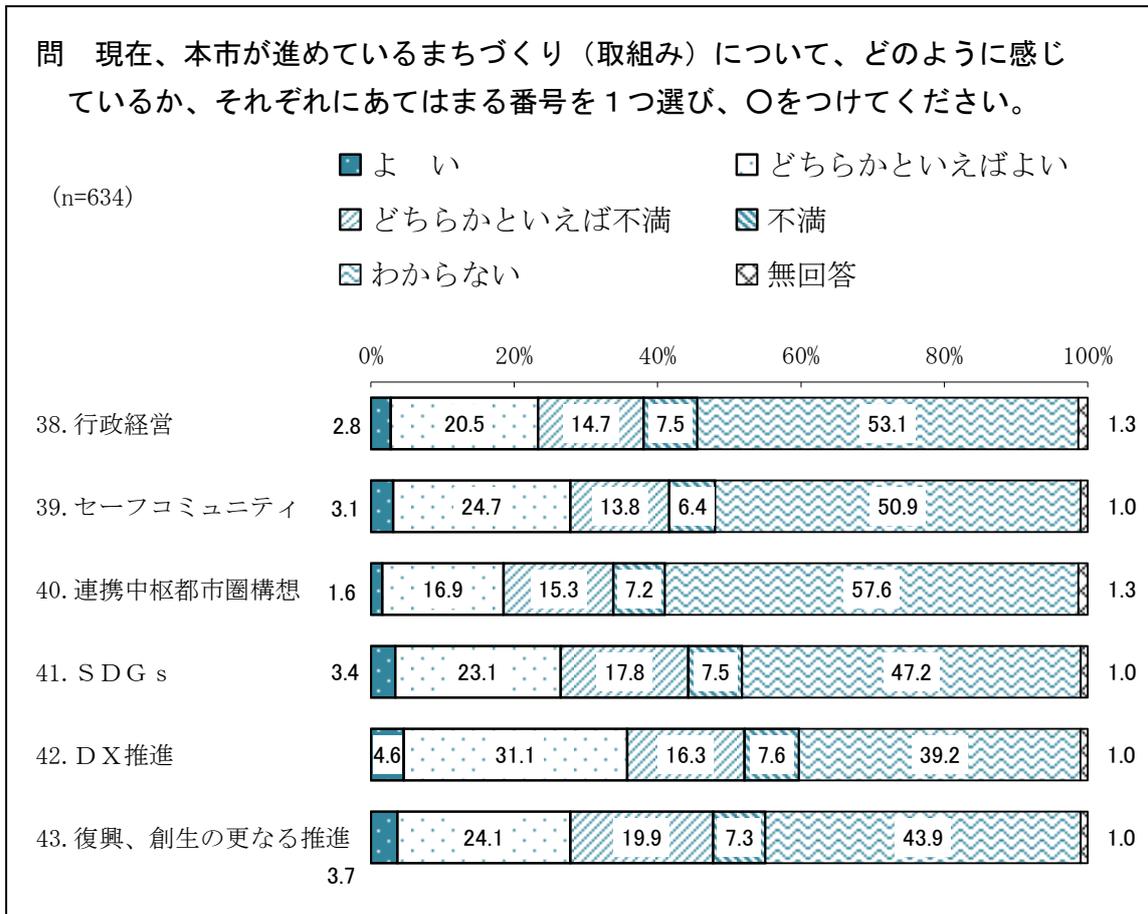
表3-11 暮らしやすいまちの未来への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	自然環境 (73.7点)	自然環境 (76.0点)
2位	防災 (73.1点)	防災 (74.9点)
3位	住環境 (72.7点)	住環境 (73.5点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	ユニバーサル デザイン (80.0点)	エネルギー (82.5点)	自然環境 (76.9点)	自然環境 (76.3点)	自然環境 (74.0点)	自然環境 (74.7点)	防災 (76.6点)
2位	防犯・ 交通安全・ 消費者対策  住環境 (75.0点)	自然環境 (80.0点)	防災 (75.6点)	住環境 (73.8点)	防災 (73.5点)	防災 (72.4点)	住環境 (75.7点)
3位		5R(資源の 有効利用) (79.1点)	エネルギー (73.8点)	防災 (71.9点)	住環境 (72.4点)	住環境 (70.2点)	自然環境 (73.0点)

## ⑥基盤的取組

(行政経営、セーフコミュニティ、連携中枢都市圏、SDGs、DX推進、復興・創生の更なる推進) への満足度



—— 基盤的取組において「満足」と思う人が最も多いのは『DX推進』 ——

### 【全体結果】

『基盤的取組』における、各項目に対する満足・不満をみると、「満足（「よい」と「どちらかといえばよい」の合計）」の割合が最も高いのは『42. DX推進』（35.7%）、次いで『39. セーフコミュニティ』と『43. 復興、創生の更なる推進』が同率（27.8%）で続いています。

一方で、「不満（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）」の割合が最も高いのは『43. 復興、創生の更なる推進』（27.2%）となっています。

また、『42. DX推進』以外の項目において「わからない」の割合が4割以上と高くなっています。事業、施策の推進など、今後もさらに周知していく必要があります。

各項目の平均得点を算出した結果を次頁に掲載しました（図3-8参照）。

平均得点をみると、『42. DX推進』が71.0点で最も高くなっています。  
 一方で、最も低かったのは『40. 連携中枢都市圏構想』（66.4点）でした。  
 なお、性別、年代別平均得点の上位3つを以下に掲載しました（表3-12参照）。

図3-8 基盤的取組への満足度＜平均得点＞（全体）

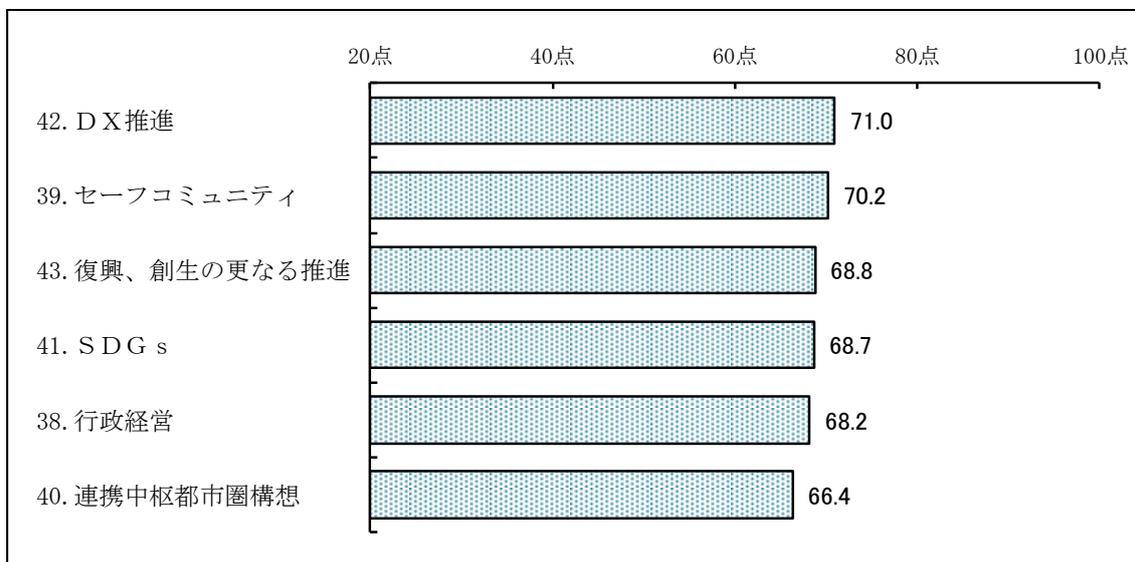


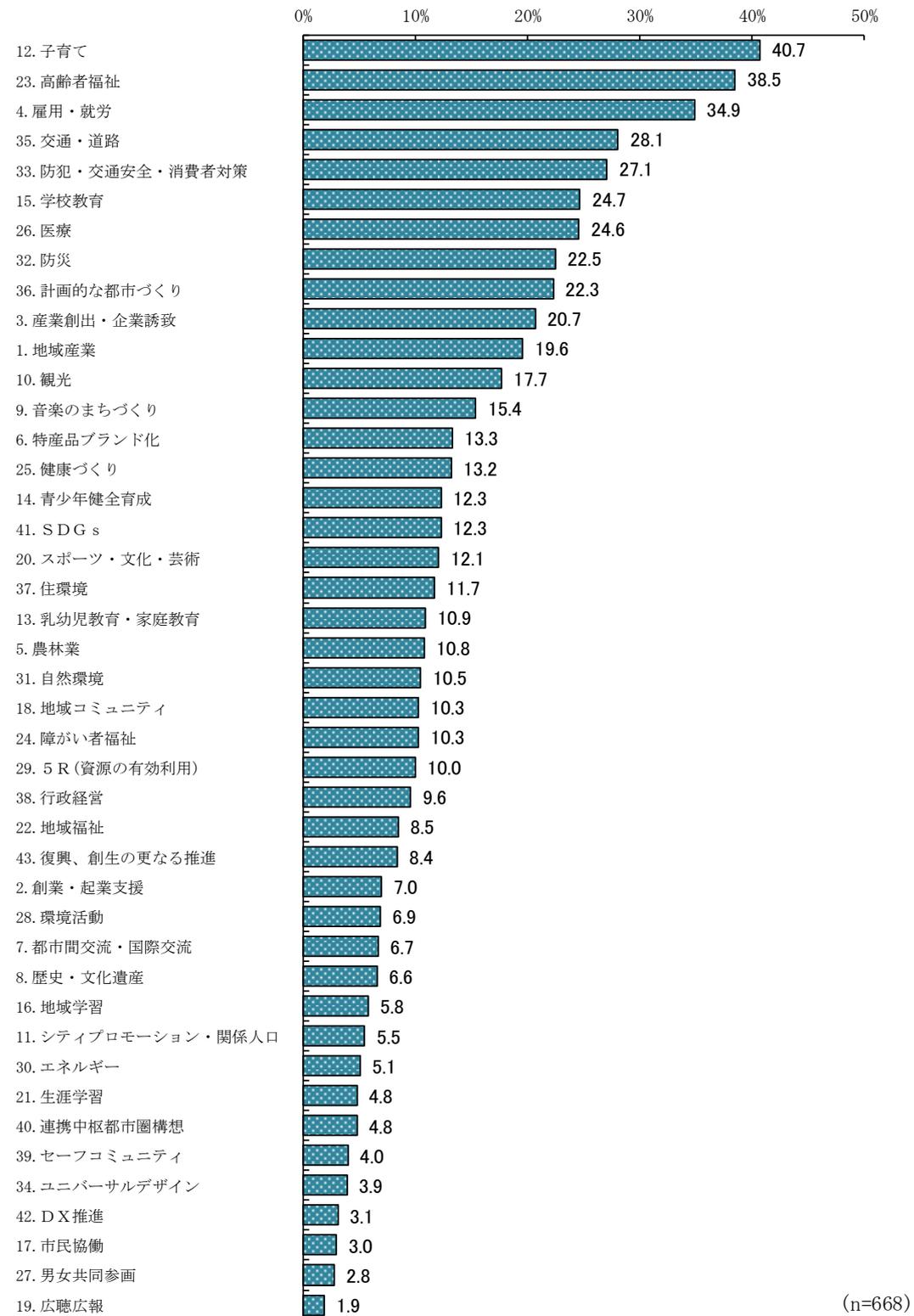
表3-12 基盤的取組への満足度＜性別、年代別平均得点の上位3つ＞

	男性	女性
1位	セーフコミュニティ (69.6点)	DX推進 (72.7点)
2位	DX推進 (69.4点)	セーフコミュニティ (70.9点)
3位	行政経営 (68.5点)	復興、創生の更なる推進 (70.3点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	行政経営	DX推進 (80.9点)	復興、創生の更なる推進 (73.7点)	セーフコミュニティ (71.6点)	DX推進 (71.5点)	DX推進 (67.7点)	SDGs (71.5点)
2位	セーフコミュニティ	復興、創生の更なる推進 (80.0点)	DX推進 (73.0点)	DX推進 (71.5点)	セーフコミュニティ (68.6点)	セーフコミュニティ (67.1点)	セーフコミュニティ (71.1点)
3位	連携中枢都市圏構想 (80.0点)	SDGs (78.9点)	セーフコミュニティ (72.8点)	行政経営 (71.4点)	復興、創生の更なる推進 (66.9点)	SDGs (66.9点)	DX推進 (69.6点)

(5) 分野別属性別重要度結果 (複数回答)

問 現在、本市が進めているまちづくり (取組み) について、特に重要と思われるものの番号を1~43から5つ選び、その番号に○印をつけてください。



【全体結果】

『12. 子育て』（40.7%）の割合が最も高くなっています。以下、『23. 高齢者福祉』（38.5%）、『4. 雇用・就労』（34.9%）、『35. 交通・道路』（28.1%）、『33. 防犯・交通安全・消費者対策』（27.1%）の順で続いています。

なお、性別、年代別の上位5つを以下に掲載しました（表3-13参照）。

表3-13 これからの取組みについての重要度＜性別、年代別の上位5つ＞

	男性	女性
1位	子育て (43.1点)	高齢者福祉 (41.4点)
2位	高齢者福祉 (35.0点)	子育て (39.2点)
3位	雇用・就労 (33.3点)	雇用・就労 (36.4点)
4位	交通・道路 (30.3点)	防犯・交通安全・消費者対策 (29.2点)
5位	計画的な都市づくり (26.3点)	学校教育 (28.3点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1位	雇用・就労	子育て (59.4点)	子育て (67.1点)	子育て (52.1点)	高齢者福祉 (43.8点)	高齢者福祉 (45.6点)	高齢者福祉 (42.5点)
2位	学校教育	交通・道路	雇用・就労 (47.9点)	雇用・就労 (38.5点)	雇用・就労 (38.0点)	子育て (40.1点)	防犯・交通安全・消費者対策 (31.1点)
3位	高齢者福祉	計画的な都市づくり (43.8点)	防災 (32.9点)	学校教育 (36.8点)	交通・道路 (29.8点)	雇用・就労 (33.3点)	子育て (27.5点)
4位	防犯・交通安全・消費者対策	雇用・就労 (40.6点)	防犯・交通安全・消費者対策 (30.1点)	交通・道路 (35.9点)	子育て (28.9点)	医療 (27.9点)	雇用・就労 (24.6点)
5位	計画的な都市づくり (50.0点)	観光 (31.3点)	交通・道路 (30.1点)	高齢者福祉 (33.3点)	地域産業医療 (25.6点)	交通・道路 (25.2点)	交通・道路 (21.0点)